

第6次総合計画基本計画の見直しについて ②

1. はじめに(成長戦略)

当町は、面積が狭い・名産品や観光(インバウンド)、資源が少ない「まち」であります。今後も継続して限られた資源を徹底的にブラッシュアップし、付加価値・差別化を図る必要があります。

2. 計画の見直しに伴う契機

・年々人口減少・高齢化社会が加速する中、行政に対するニーズの多様化・複雑化していくことが予想されます。

・コロナを契機に、デジタル化が急速に進み、当町も社会環境の変化に的確に対応しなければなりません。特にコロナ禍で日本のデジタル化、とりわけ行政分野での遅れが露呈し、DX 推進が喫緊の課題であると認識しております。

・そこで、当町ではデジタル技術等を活用した行政サービスの質向上及び業務効率化に係る内容を第6次総合計画に定めるものであります。

・また、円城寺厩舎の跡地利用についても、今後の当町を左右する大きなプロジェクトであるため、魅力あるエリアづくりに係る内容を第6次総合計画に定めるものであります。

3. DX 推進に向けた取り組み【別紙:基本計画(抜粋)】

3-1. 町の方向性

- 行政サービスのデジタル技術やデータを活用して、**住民の利便性を向上**させる。
- デジタル技術や AI 等の活用により、**業務効率化**を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げる。

3-2. 町の取り組み

- 満足度の高い行政サービスの提供
 - ・住民誰もがデジタル化によるメリットを享受できる取組の推進
- 効率的・効果的な行政運営の推進
 - ・自治体 DX 推進基盤の整備による事務の効率化

4. 円城寺厩舎跡地の利活用に向けた取り組み【別紙:基本計画(抜粋)】

4-1. 町の方向性

- 笠松町都市計画マスタープラン等に基づき、用途に応じた秩序ある土地利用及びまちづくりの検討を進める。

4-2. 町の取り組み

- 土地の計画的な有効活用
 - ・円城寺厩舎移転に伴う跡地周辺の魅力あるエリアづくりの検討